

広報

# のほろへつ

- 57年度市長市政執行方針 未来に翔たく学園都市建設と市民生活充実の年、軒先の環境整備を最重点に…… 2・3 P
- 57年度事業予算のあらまし 景気浮揚に積極型予算、4月中に事業費の10%を発注…… 4・5 P
- ふれあい広場 ■ 郷土史探訪…… 6 P

●No. 345 ●昭和57年4月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部企画広報課●印刷/中西印刷



## 58年6月オープン目指して =市民センター=

富士町7丁目に建設を進めていた「市民センター」の56年度工事が完了、市民文化の殿堂にふさわしい大規模な建築物となっています。

同センターは、当初、56年度から58年度までの3カ年計画となっていました。市民待望の施設であることから、57年度で建設工事を完了し、周辺を整備して、58年6月オープンを目指すことになりました。

今年度は、建設工事に9億900万円、周辺整備と備品の購入などに1億円の事業費が投入され、総事業費は約15億円となっています。

4.1 '82

# 民生活充実の年



市政執行方針を発表する中浜市長  
(3月4日、昭和57年第1回定例市議会本会議で)

## 市民の暮らしを守る

三月三日から開会された、昭和五十七年第一回定例市議会、中浜市長は昭和五十七年度の市政運営の基本方針と施策の概要を発表しました。市政執行方針の概要は次のとおりです。

私は、昭和五十四年第二回定例市議会、市政の基本理念と、その重点に考える積極行政を行なう、第二に「行政の洗直しを徹底的に行ない、計画的で無駄のない基礎づくりから出発する」、第三に「経済的に密接な関係にある隣接市町との連携を重視し、広域的発想による当市の将来構想を樹立する」、と発表しました。

この信条に従って、今日まで諸般の手腕をふまえながら一つひとつ忠実に、積極的に政策の実行に取り組んできました。

この間、昭和五十五年、五十六年と二度にわたる大災害を受け、また、厳しい財政危機に直面しながらも、着実に当面する政策の実行を果しつつあり、国、道、ならびに当市の本年度予算が可決執行されますと、公約全体の執行率は約九十五%を超えるものと予想しています。

これほどに、賢明な市民のみならず、心から感謝します。

## 57年度 市長市政執行方針

# 軒先の環境整備を最重点に

ご承知のように、昭和五十四年度は、「調査、計画の年」として街づくりのため、種々の調査を実施し、将来のための基礎づくりを力そそぎました。

次にこれを基盤として、当市の「道標」とも言うべき、観光と工業、学園都市建設を柱とした「登別市総合基本構想」と「基本計画」を策定し、昭和六十二年までの八カ年にわたる将来構想を決定しています。

さらに、放置すると重大な危険をはらんでいた財政の実態をつぶさに精査し、健全な財政運営

の方向づけをする「財政白書」を公表し、「基本計画」と共に車の両輪となる「中・長期財政計画」を策定しました。

これによって将来にわたる財政運用の見通しをたて、健全財政の確立を図るため、昭和五十五年を「財政再建の年」と位置づけし、

昭和五十六年度は「政策実行の年」として、まず基本となります市役所機構の改革を断行、行政改革の斬新的な推進を図りました。また、市民センター、公共下水道、川上総合公園など、市民に直

結する大型都市基盤整備事業に着手、さらに学園都市建設構想の第一号として、日本工学院北海道専門学校の開校に全力を傾注しました。

このような経過から、昭和五十七年度、私の任期が最終年度を迎えましたが、国内の経済状況はますます緊迫し、不況の慢性化などさらに厳しい地方財政となつてい

ます。しかし、大学などの誘致、土地開発公社による宅地の解放、区画整理事業の早期完成による民間住宅建設の促進などは、就任当初か

ら財政再建を図りながら、公共投資の拡大と民間投資の誘発を図ってきたものです。国と地方を通じ、行政改革のま

った中ではありますが、市民の期待にこたえ、暮らしを守り、生活に活力を与えるため、基本構想の実現に向けて「中・長期財政計画」をふまえ、今年度を「未来に翔たく学園都市建設と民生活充実の年」とし、風格のある登別をつくるため全力をあげる決意です。

以下、施策の概要は次のとおりです。市民のみならずの絶大な、ご協力、ご支援をお願いします。

## 財政の状況

### 経常経費の節減につとめる

綿密な調査による計画の樹立、事業の精査、収入財源の確保につとめ、さらに歳出についても全職員、さらには市民生活にわたる経常経費の徹底の節減が図られたことから経常経費の伸び率四・五%と、過去、最低となりました。

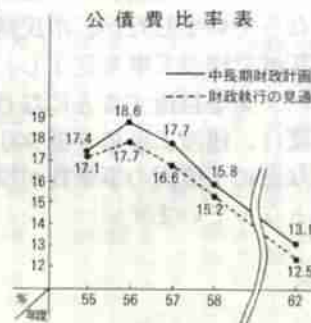
歳出中、最も大きなウエイトを占める職員給与費は、過去十数年間、毎年伸び率が十%を超えていたものを、前年度対比三・一%の伸び率に抑えました。

職員定数は六三〇人に對し、予算定数六一〇で編成し、これは職員一人当たり人口が、九五・四人で全道一の少数精鋭となっております。また昨年、国にさきがけて実施

しました大部・大課制機構改革による成果も大きく左右しており、この面からも財政再建は着実に進んでいきます。次に財政硬直の最大の要因となつている公債費は、前年度対比、六・〇%の伸び率に抑えることが

## 一般会計事業費 四十億六千万円

国の行政改革の影響はあるものの、本市の健全財政を堅持しながら、多様高度化する市民要望にこたえ、市民生活に活力を与えるため、一般会計の事業費は四十億六千万円、予算全体の三〇%、前年度対比四六%となりました。



### 公債費比率とは

公債費は、過去に負った債務の支払いに関連する経費(市債の元利償還金と一時借入金利子の合計額)であって、人件費、扶助費と同様に義務的経費です。この公債費比率は財政上、低いほど望ましく、通常六・七%程度が適当であるといわれています。

できました。これは昭和五十四年から三カ年にわたり、市債発行を抑制した結果となっております。

引き下げ、健全財政が確立される見通しとなります。

# 未来に翔たく学園都市建設と市

## 都市環境と産業経済

### 道路、排水の整備に6億円

道路舗装や排水路新設、維持補修、清掃などに六億円の予算を計上しました。

大雨の災害常襲地帯である富士山手地区・新川、緑、桜木地区・

新生地区の汚名を返上することが期待できます。また、あかしや団地付近は技術的な対策と膨大な費用を必要としますので、暫定的に既設排水路の清掃を行ない、恒久的な対策のため実施設計と、早期に国費導入による河川改修をするよう努力をします。

また、道路、排水などの不良箇所を早期発見と迅速な対応をするため道路パトロール専用車を購入します。

また、道路、排水などの不良箇所を早期発見と迅速な対応をするため道路パトロール専用車を購入します。

### 国道36号線、公共下水道、川上総合公園を促進

国道36号線観別海岸バイパスは昨年、調査計画が実施され、今年度は諸般の事務手続きが終る予定から、昭和五十八年度に工事着手されるよう努力をします。

着工二年目の公共下水道は、予算規模もまだ多額ではありませんが、特別会計によって事業の促進を図ります。

川上総合公園は、面積九・五haのうち、今年度で約七〇%の用地買収を終り、明年、残った用地の

### 道々の整備が促進される

道々上登別室蘭線的美園地区、千歳札内地区、新登別大橋と、富士、新川地区の観別川橋梁新設に向けての調査費など、約十億円の事業実施によって、道々の整備が促進されます。

また、道々洞爺湖登別線(オロフレ峠)は、当市側 約二億円でいよいよトンネル工事が行なわれます。

さらに、登別温泉市街地内、道道俱多楽湖公園線の道路網整備のため促進運動を進めてきたところ、バイパス建設に向け今年度から調査

買収と同時に一部、工事着手できるように国、道と協議をします。

査計画が行なわれます。△その他の主な施策▽  
・ 祇園街整備を行ない、観光地にふさわしい環境整備を計画的に進めます。  
・ 無電灯地域であったクッタラ湖畔に電氣導入のため助成します。  
・ 市道サトオカシ別路線が農免農道改良事業、市道東札内路線・川上路線が凍雪害改良事業と、それぞれ改良舗装として着工されます。  
・ 登別都市下水路は今年度をもって完了し、区画整理区域内の縦排水路を全線完了させます。

・ 公営住宅の人居希望者が多いことから、新生町に棟三十戸、登別温泉に四棟十六戸を建設し、観別西団地・緑ヶ丘団地の一部を住宅改善します。

## 文化・教育・福祉

### 市民センター58年6月オープンを目指す

昭和五十六年度当初、三カ年の継続事業としていた市民センターは市民各層から早期完成を強く要望されていますので、今年度、完成させます。

また市民センターは総額約十五億円と市内最大の近代的な内容を持つ施設となり、昭和五十八年六月オープンを予定し努力をします。

### 仮称登別中分教場は来年四月に開校

富岸地区の新設中学校として、昨年から工事を進めていきましたが今年度中に、校舎、屋体と屋外運

動場、備品などをすべて完成させ、昭和五十八年四月に開校します。また、児童生徒の急増地区となっている若草小学校と、教育環境交美のため札内小中学校の増設策を行ないます。

### 特養老人ホームの建設に助成

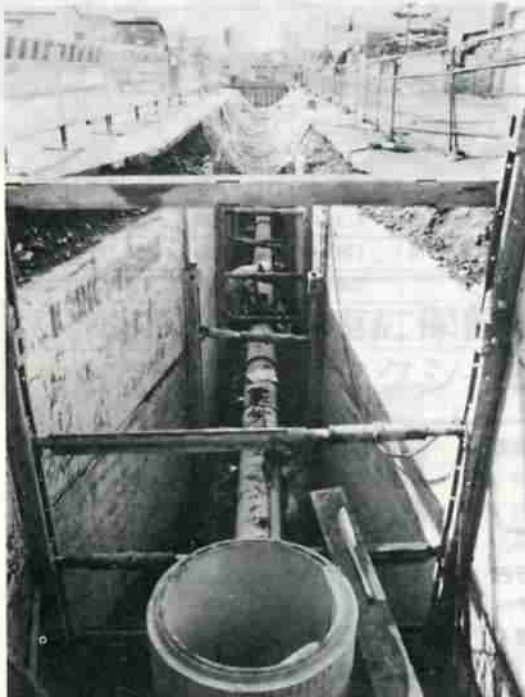
寝たきり老人のための医師つき老人ホームは、当市にとって長年の懸案となっていました。三カ年の要望が実り、登別千寿会によって五十人収容の施設が建設されますので、これの助成をします。

### 成人病予防の対策は広域的に

年々増加する成人病に対する予防対策が急務となっています。このため、室蘭医師会を中心に室蘭市と共に三者の協議を進めていきましたが、地域医療の向上と市民の健康を守り、広域的に対応するため室蘭・登別保健センターを建設します。完成後の効果は非常に大きいものがあります。

### 警察署実現への足がかり

懸案となっていました警察署の設置は、関係機関への要請を続けてきたところ、今年度、登別警察官派出所を約三百平方メートルに規模を拡大し改築されます。この派出所が改築されることは警察署実現への第一歩を踏み出したと言えます。さらに将来を考えると改築位置も道路公園閉事務所隣りに移設計画をしました。



公共下水道への第1歩。富士町5丁目スタートした汚水管敷設工事



特別養護老人ホーム(緑風園)完成予想図

# 陽に積極型予算 月中に事業費の10%を発注

昭和58年6月のオープンを目指す市民センター建設事業や、公共下水道事業に加え、市道舗装、排水整備などに大幅な事業費を盛り込んだ昭和57年度予算案が、3月3日から開会された第1回定例市議会会で可決されました。

今年度予算は、昭和55年度に策定した中・長期財政計画による健全財政を堅持しながら、市内経済の回復と市民生活に活力、を与えるため公共投資を拡大するなど、積極的な予算を編成しています。

この結果、各会計を合わせた総額は、168億4,401万9千円で、昨年度当初予算と比べ10.3%の伸びとなりました。

今年度予算から、主な事業をご紹介します。

昭和57年度 登別市各会計予算総括表

(単位千円・%)

会計区分	昭和57年度 予算額	昭和56年度 当初予算額	比較増減	伸率	
一般会計	13,647,000	11,936,000	1,711,000	114.3	
特別会計	国民健康保険	1,988,565	1,809,611	178,954	109.9
	観光事業	104,201	91,894	12,307	113.4
	学校給食	434,148	405,460	28,688	107.1
	公共下水道	79,468	-	79,468	増
	土地地区画事業	-	307,410	△307,410	減
小計	2,606,382	2,614,375	△7,993	103.3	
合計	16,253,382	14,550,375	1,703,007	111.7	

区分	昭和57年度 予算額	昭和56年度 当初予算額	比較増減	伸率
収益的支出	413,941	351,626	62,315	117.7
資本的支出	176,696	365,468	△188,772	△51.7
計	590,637	717,094	126,457	△17.6

区分	昭和57年度 予算額	昭和56年度 当初予算額	比較増減	伸率
水道事業会計	16,844,019	15,267,469	1,576,550	110.3

## 登別温泉をシェープアップ… 祇園街整備 郷土資料館周辺を整地… 川上総合公園

●川上公園新設事業 1億211万円  
幌別ダム下に、昭和60年完成を目指しています。今年度は、用地買収費、基本設計委託費、資料館周辺の整地費を計上しました。

●わかば公園新設事業 4,700万円  
幌別町2丁目に児童公園(0.17ha)を設置します。今年度は用地の買収費を計上しました。

●市内各地区公園整備事業 750万円  
川上自然公園、登別東町公園、新川公園のフェンス設置や整地などを行ないます。

●幌別合同庁舎敷地整備事業 500万円  
幌別町3丁目に建設を計画していますが、今年度は、敷地の整地と排水管の敷設、テニスコートの造成などを行ないます。

●消防水利施設整備事業 1,886万円  
市内各地に13基の消火栓と2基の防火水槽を新設します。

●消防ポンプ自動車購入事業 1,199万円  
幌別支署に配置している消防ポンプ自動車を更新します。

●空気呼吸器購入事業 651万円  
有毒ガスの発生する火災現場に、欠くことのできない空気呼吸器と予備ポンプを購入します。

●カルルス温泉地区園地整備事業 450万円  
保養温泉にふさわしい地域づくりを進めるため小公園や散策並木を設置します。

●登別温泉祇園街整備事業 2,500万円  
シェルターの設置や化粧ブロックを敷くなど、観光地にふさわしい環境整備をします。

●クッタラ湖電気導入事業 360万円  
登別観光協会が事業主体となり、レークハウスまで電気を導入するもので、総事業費1,100万円の3分の1を補助します。

## 学園都市建設の基礎づくりを推進 全道規模スポーツ大会の受け入れに万全

●日本工学院北海道専門学校備品購入費補助金 2,000万円  
市の要請によって、当初計画にはなかった建築、土木、ソフトビジネス科が増設されたので、これに伴う実験、実習設備などの購入費を一部補助して、学園都市建設の基礎を築きます。

●小中学校校舎増築事業 1億4,050万円  
○若草小学校 鉄筋コンクリート造3階建 857㎡  
○札内小中学校 コンクリートブロック造平屋建 104㎡

●教育施設整備受託事業 1億2,300万円  
各小中学校校舎の営繕や、若草婦人研修家の増改築などを行ないます。

●仮称・登別中学校分教場校舎新築事業 4億5,783万円  
56・57年度の2カ年継続事業で、今年度をもって完成します。また、同校の屋内運動場の建設や周辺整備などにも1億7,200万円を計上しました。

●市民センター建設事業 9億912万円  
当初56年度から58年度までの3カ年計画でしたが、みなさんの強い要望を受けて、今年度で完成するよう予算計上しました。また備品の購入についても5,000万円計上しました。

●全道大会開催経費 730万円  
当市を会場に開催される北海道陸上競技大会と、北海道ブロック短水路水泳大会のため、競技場の整備と運営費の助成をします。

### <水道事業会計>

- 上幌別・幌別連絡管布設事業 2,000万円
- 市内各地区配水管改良事業 4,430万円
- 富岸川配水管移設事業 1,259万円
- 若草町6丁目配水管バイブライニング事業 576万円
- 量水器購入事業 6,712万円



登別中分教場(仮称)建設工事



新興住宅地として、発展めざましい若草・新生町

## 昭和57年度 事業予算の あらまし

### 予防医療の充実に保健センター建設 身障者の“足”、タクシー利用に助成

●登別東テレビ中継局設置事業 300万円  
富浦墓地附近にテレビ中継局（ミニサテライト局）を設置して、登別本町、登別東町地域約1,500戸の難視聴を解消します。

●公共施設整備受託事業 5,800万円  
大和町2丁目に老人憩の家を新設（木造モルタル平屋建103.6㎡）するほか、市内各地の老人憩の家の増改築、清掃工場焼却炉の補修、し尿処理施設の補修、その他公共施設の補修を行ないます。

●駅前周辺整備事業 550万円  
登別駅前に50台収容の屋根付き自転車置場を設置します。また、未整備だった鷺別駅東口に270㎡の駅前広場を造成します。

●重度障害者（児）福祉タクシー事業 210万円  
1・2級の身障者で、下肢と体幹機能に障害をもつ方を対象に、日常生活に欠くことのできないタクシーの利用について、基本料金を年24回分助成します。

●室蘭・登別保健センター建設事業負担金 2,430万円  
健康の増進と予防医療のために、臨床検査センター、看護婦養成所も備えた保健センターが室蘭市東町4丁目に建設されます。  
室蘭医師会が中心となって、室蘭市と登別市の広域事業として行うもので、建設費は、13億7,300万円です。今年度の登別市負担金として計上しました。

●ウタリ住宅新築資金等貸付事業 724万円  
市内に居住するウタリの居住環境の整備と福祉増進を図るため、住宅新築資金、住宅改修資金、土地取得資金に、低金利の貸し付けを行ないます。

●交通安全対策事業 2,710万円  
継続事業として、中央通り370m、鷺別学園路線25m（橋梁）の歩道舗装を行ないます。

●鷺別漁港西防波堤消波ブロック布設事業負担金 300万円  
漁船の安全操業と堤防の破損を防ぐため、北海道が事業主体となり、総事業費3,000万円でテトラポットの投入などが行なわれます。

### 市道舗装・排水整備を積極的に 広く住み良い公営住宅に改善整備

●市道舗装排水整備事業 6億円  
市内一円の市道舗装9,968m、排水整備7,236mを実施します。

●常盤通舗装事業 1億300万円  
街路事業として、舗装新設340m、路盤改良230mを実施します。

●カルルス線外1舗装事業 7,200万円  
防衛施設周辺整備事業として、今年度は、460mの舗装新設を行ないます。

●市道路線改良事業 3,000万円  
国庫補助事業として、川上路線180m、東札内路線300mの路盤改良を行ないます。

●公営住宅建設事業 4億4,744万円  
新生町2丁目に第2種公営住宅、5階建て1棟30戸（3LDK）と集会所を、登別温泉町177番地に第1種公営住宅、簡易耐火構造2階建て4棟16戸（3LDK）を建設します。

●公営住宅改善事業 2,044万円  
緑ヶ丘団地の1棟4戸（2DK）と西団地1棟3戸（2DK）を、それぞれ3DK2戸とし、脱衣室、浴室を設けます。

●公営住宅環境整備受託事業 1,500万円  
市内各公営住宅団地の道路整備や排水整備を行ないます。

●鷺別都市下水道整備事業 1億9,090万円  
53年度から着手しましたが、今年度960m

56・57年度の2カ年継続事業で、今年度地元負担金として計上しました。

●中札内地区農免農道整備事業 822万円  
北海道が事業主体となり、中札内の農道3,906mのうち本年度364mを舗装するもので、地元負担金として計上しました。

●水産振興対策事業 562万円  
ほっき稚貝、えぞばか稚貝の移殖放流事業に対して、今年度も継続して助成します。

●じん芥収集車購入事業 71万円  
1台を更新するもので、購入に必要な予算を計上しました。

整備することによって全事業が完了します。



今年度で完了する鷺別都市下水道

●公共下水道事業 5,958万円  
今年度は、汚水管を405m敷設します。

●河川改修事業 6,300万円  
継続事業として、伏古別川、西富岸川、ボンアヨロ川、徳消川の河川改修とヤンケン川の河川改修調査をします。

●小規模治山事業 500万円  
片倉町1丁目のガケ崩れ危険部分に、防護ネットを設置して落石を防止します。

●川上路線災害復旧事業 570万円  
21.7mの復旧事業を行ないます。

●来馬1号線災害復旧事業 410万円  
24mの復旧事業を行ないます。



# ふれあい広場

みんなでつくるページです

## 五百円は 大きいお金？

四月から五百円札に変わり、五百円硬貨になるとのこと。テレビでは「きみにとって、五百円は大きいお金」と小学校の子供に聞いていた。返事はさまざま。「大きい」「わかんない」「小さい」。

また、小づかいはいくらとの質問に、月額三百円から三千円とこれもさまざま。親の経済状態から額もいろいろと思うが、しかし、子供にとって、ほんとうに必要な金額は、いくらなのか考えさせられます。

## 仮免練習者に いたわりを

あたりに夕やみが迫る午後六時ころ、帰宅を急いでいた。低速で運転している「仮免許練習中」の車を、きりきりのところで追い越した。びっくりしたのか

仮免者は急ブレーキ。追い越した若者の心情がわからぬ。あなただって、生れたときから運転免許を持っていないだろうか。自動車学校の先生に怒られながら、未熟な自分に打ち打って、苦勞して取った免許証。練習中だから低速なんです。運転に少しなれたからと運転技術を過信していませんか。車の性能がいいだけで、技術とマナーは最低。仮免練習者の手本となるような運転こそが、悲惨な事故を防ぐのでは……。

（富士町・会社員・51歳）



## ヘソクリばれた

独身時代のトラの子、十万円を女房に内緒で日銀行に預金。カードを作ってもらい、通帳は証拠隠滅のため破いてホイ。秘密をもった我が胸は、ときめきの喜びにうちふるえました。ところが、ドジなことにこの大切なカードを落してしまったのです。

銀行へ電話をすると、可愛い女性の声で「ご心配ありません。新しいカードをお作りします。通帳をもらってご来店下さい。毎度あ

## どうにかして…

どうしてこんなに間違い電話が多いのでしょうか、電話ノイローゼになりそうです。家の電話番号は、市役所の警別支所と一字違い、多い時で一日に五・六本もかかってきます。電話が鳴るとイライラしてきます。電話をかける前には、ちゃんと確認してください。

- ▽警別支所 ⑥6111
- ▽警別支所 ③1131
- ▽警別支所 ④2068
- ▽警別支所 ⑤2111
- ▽警別支所 ⑤2111
- ▽警別支所 ⑥6111

## お待ちしています

「ふれあい広場」では、みなさんからの投稿を掲載していきます。ホットな話題や意見、提言をどしどしお寄せください。掲載分には記念品をさしあげます。

▽宛先 ハガキまたは封書で 登別市役所企画広報課へ（〒059103 登別市中央町6丁目11番地）※紙上では匿名としますが、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。

# 郷土史探訪

66

## 富士町

### 昭和17・18年に一、四五〇戸の社宅

登別市内の行政地名は、昭和十九年四月に大改正が行なわれましたが、このとき新しく誕生した地名のひとつに「富士町」があります。

長い間、富士製鉄社員の社宅街として、他の地域とは少し異なった形成と発展を続け、富士製鉄社員の愛称でよばれていたところから、この地名が付けられました。

昭和十二年の、日中戦争の勃発で戦時体制が次第に緊迫の度を深めるようになり、室蘭の日本製鉄所や日本製鋼所では、生産増大のため従業員の大増員が行なわれ

社宅も多く建築されました。登別市には、昭和十四年日本製鉄材製造株式会社社宅が警別に建てられ、現在の新川町三丁目、日本製鉄製鋼池の工事も行なわれました。

昭和十五年には、これに伴う社宅も建設され、昭和十七年から十八年にかけて、富士町の前身となる字来馬六十七番地の広大な村有地に約千四百五十戸の日本製鉄社宅が建設されました。

千四百余戸、約千五百人の会社社員や家族が移住し、急に新天地で生活するのですから、いろいろな問題がおこるのも当然です。まず、入居者の選定に問題がありました。急激に増える児童が輻輳に入り切れなくなる恐れがあるため、独身者か幼児のいる家族が優先して入居しました。

また、幌別駅は東口しかありませんでしたので、幌別一丁目の踏切りを通らなければならず、中には鉄道線路を横きる人もいて、職員とのトラブルもありました。

このような中で、社宅街は南区（四丁目）、東区（五丁目）、西区（六丁目）、北区（七丁目）に整然と区分され、昭和十七年には、中心的位置にあたる七丁目に、米穀、食料品、衣料、家庭用品など生活必需品を取り扱う幌別配給所ができて人々の生活を潤お

しました。同年、社宅が木造平屋建のため、防火には特に力が入られ、防火機や消火栓が設置、消防ポンプ車一台と消防隊が配置されました。また、昭和十八年には、郵便局や来馬巡査駐在所、病院などもできました。

学校も社宅開設当時は、一時戸田組の建物を利用し、昭和二十六年には、富士製鉄製鋼寮を飯校舎として幌別小学校の来馬分校としました。しかし昭和二十七年、幌別西小学校の設置によって、幌小へ通学していた児童の通学難や教室の二部授業なども解決されました。当時この街で暮らした人達にとってなつかしいことは、昭和二十六年十二月に建設された劇場附属の幌別会館（現来馬集会所）ではないでしょうか。

文化的行事や施設のない時代に、公共的な施設として解放され、映画の上映館として人気を集めました。また、結婚式の会場としても非常に多く利用されました。現在五六十歳になられる方々の中には、結婚披露の会場として利用された方もたくさんいるのではないかと思います。

現在、これらの方々が既に退職をされ、時代は孫の代になって、昔の社宅の街並みも見られない今日の変容を思うとき、時代の波の大きさと、時の早さに驚ろきながらも富士製鉄社宅時代を懐かしむ方も大勢居られるのではないのでしょうか。

登別市郷土文化研究会 宮武 神一 記



昭和30年頃の富士製鉄社宅街



ご家族おそろいでご利用ください

# 国民宿舎 オロフレ荘

●カルルス温泉/TEL④2861

木の芽ふく春— 厳しい冬の疲れをカルルス温泉でいやしませんか。国民保養温泉や北海道老人クラブ連合会にも指定されているカルルス温泉は、神経痛や胃腸病、神経諸病などに効果があります。市営国民宿舎オロフレ荘のご利用料金は下表のとおりです。

大		人		小		人	
夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬
4,450円	4,917円	3,710円	3,960円				

※夏利用期間5月～10月 冬利用期間11月～4月

## 趣味の輪を広げませんか

○申込先 社会教育課 (TEL⑤2111内線349)

○受付期間 4月15日～30日

### 57年度 前期公民館講座

※ 中央公民館

講座名	開設月日	回数	時間	講師	定員	教材費	各自用意する物	備考
料理教室	5月14・21・28日	10	10:00 12:00	千野明子	25	1回 500円	エプロン 筆記用具 頭かん	
	6月4・11・18・25日							
	7月2・9・16日							
魚拓教室	5月13・27日	6	18:00 20:00	黒沢友義	20	500円	筆記用具	初心者対象
	6月10・24日 7月8・22日							
盆栽教室	5月17・24・31日	5	18:00 20:00	大山吉次	50	700円	筆記用具	初心者対象
	6月7・14日							

※ 青少年会館

講座名	開設月日	回数	時間	講師	定員	教材費	各自用意する物	備考
絵画工作教室	5月15・22・29日	10	13:30 15:30	藤原正敏	20	1,000円	絵の具セット ハサミ・ナイフ 彫刻刀 筆記用具	小学校4年生以上を対象
	6月5・12・19・26日							
	7月3・10・17日							

※ 登別婦人センター

講座名	開設月日	回数	時間	講師	定員	教材費	各自用意する物	備考
和菓子教室	5月14・21日	6	18:00 20:00	船橋 勉	30	1回 300円位	エプロン 筆記用具	家庭内にある材料を使用
	6月4・18日 7月2・16日							
七宝焼教室	6月18・25日	3	10:00 12:00	横山紀子	20	1回 700円	小刀 竹ばし1本	
	7月2日							

※ 登別公民館

講座名	開設月日	回数	時間	講師	定員	教材費	各自用意する物	備考
生花教室	5月7・14・21・28日	10	18:30 20:30	田中悦子	15	1回 600円位	ハサミ 花器 剣山	初心者対象
	6月4・11・18・25日							
	7月2・9日							

# 入学しませんか

## 婦人短期大学

時代に適応できる豊かな人間性を築くため、婦人の生涯教育の場として、昨年に引き続き、婦人短期大学(二年制)を開校します。学ぶという事で、精神的充足感を得、より前向きに生きること

＜必須コース＞

コース名	回数	会場	月	講義題目	月	講義題目
一般教育	2回	中央公民館	5	北海道の歴史	9	くらしの経済
			6	同上	10	歯と健康
			7	親子関係 時の話題から 福祉とボランティア	11	保健教育活動 同上 主婦の法律知識
				自然食品と健康		望ましい婦人像

＜1コース必ず選択＞

コース名	回数	会場	講師	定員	内容
心理学	月1回	中央公民館	文化大学室蘭女子短大助教授 川崎 徹	50	講義
文学	月1回	中央公民館	文化大学室蘭女子短大助教授 水野 隆	50	講義
茶道	月1回	中央公民館	文化協会茶道部	50	実技・講義
軽スポーツ	月2回	青少年会館	教員委員指導	30	卓球、バドミントン、レクリエーション

※ コースにより教材費を徴収します。

への足がかりとして、この機会を利用してみませんか。  
 ※前年度修了証書をお持ちの方は、そのまま、学年に進級しましたので、申し込みの必要はありません。  
 ▽開校式 5月10日(月)午後1時から/中央公民館二階ホール  
 ▽コース 必須コース(一般教育)のほか、選択コースとして心理学、文学(万葉集)、茶道、軽スポーツの4コースがあります。  
 ▽対象者 市内に居住する婦人  
 ▽定員 各コース50名(軽スポーツのみ30名)  
 ▽申込期間 4月15日～30日  
 ▽申込先 社会教育課(TEL⑤2111内線349)  
 ※一学年の修了者には修了証書、二年間を修了した方には卒業証書を交付します。

## 団員を募集



バドミントン協会では、当市で開催される「昭和64年国民体育大会」に向けて、地元選手の育成をめざし、次のとおり団員を募集しています。  
 ▽募集対象・定員 小学生(4年生以上)、中学生、高校生/各

20人。(市内に居住または、通学する生徒であれば、男・女を問いません)  
 ▽活動予定 週三回(火・木・土曜日)。時間/火・木曜日は午後6時から、土曜日は午後2時から。  
 ▽主な活動場所 富岸青少年会館  
 ▽経費 入団費:800円(本部登録料を含む)。月団費:500円。  
 ▽申込期限 4月30日  
 ▽申込方法 総合体育館にあります入団申込用紙に必要事項を記入し、同体育館内協会事務局へ提出してください。

### 技能検定の案内

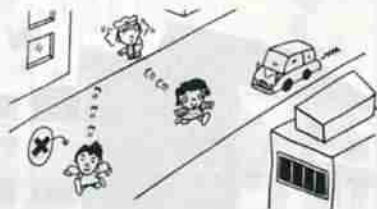
57年度の前期技能検定が、次のとおり実施されます。  
 ▽受検申請書の受付 4月15日から26日まで。  
 ▽実技試験期間 6月19日、9月19日  
 ▽学科試験 9月5日、12日19日のいずれか。  
 ※職種や受検資格、受検手続などについては、胆振支庁商工労働課内胆振地方技能訓練協会(TEL室蘭2219131内線293)にお問い合わせください。

### 春の交通安全運動 4月6日～15日

4月6日から15日までの10日間春の全国交通安全運動が行なわれます。「自分の子にはしつけを、他人の子には愛の一声」で、子供の事故をなくしましょう。すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を。

#### ＜重点項目＞

- 歩行者、特に子供の交通事故防止
- 自転車、原動機付自転車の安全利用の促進
- 安全運転の確保、特に無謀運転の防止



新入学(園)児の交通事故を防ごう

#### 市民意識

### ふれあう心の合言葉

一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。

57年4月から、小学校・中学校の給食費を改定します。

### 改定のお知らせ

### 学校給食費

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区  
※受付時間は、午前11時15分から30分まで。

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

### 乳児相談

●内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

●対象児 57年1月出生児

●日程・場所・対象地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区

▼4月23日：労働福祉センター／観別地区

▼4月22日：観別公民館／観別地区



### 埋蔵文化財発掘調査 臨時作業員を募集

財団法人北海道埋蔵文化財センターでは、発掘調査にともなう作業員を次のとおり募集します。

▽職種／人員／日額賃金  
○普通作業員(男子)／30人／6300円  
○修作業員(女子)／132人／4,760円

▽土曜日は、日額賃金の2分の1  
▽資格 20歳以上65歳までの健康な方。

▽勤務時間 平日：午前9時から午後5時まで。(土曜日は、12時30分まで)

▽雇用期間 5月10日～10月30日

▽応募要領 履歴書、住民票、健康診断書を提出してください。

▽面接 5月4日、午前9時から面接し、採用を決定します。

▽申込期限 4月30日

▽面接 5月4日、午前9時から面接し、採用を決定します。

▽申込期限 4月30日

▽面接 5月4日、午前9時から面接し、採用を決定します。

▽申込期限 4月30日

▽面接 5月4日、午前9時から面接し、採用を決定します。

▽申込期限 4月30日

▽面接 5月4日、午前9時から面接し、採用を決定します。

▽申込期限 4月30日

健康診断書を提出してください。(履歴書、健康診断書は、市教育委員会または、埋蔵文化財センターにありますが所定の用紙に記入してください。)

▽問い合わせ先  
○市教育委員会社会教育課(Ⅷ⑤) 2111内線349)

○北海道埋蔵文化財センター(〒060 札幌市中央区南15条西17丁目 Ⅷ札幌56110067) ※同センターに履歴書、健康診断書を請求の際は、60円切手を貼付し、宛名明記の封筒を同封すること。

▽申込期限 4月30日

▽面接 5月4日、午前9時から面接し、採用を決定します。

### 国民年金

#### 保険料が改定に

4月から、国民年金の保険料がこれまでの月額4,500円から5,220円に改定されます。物価の上昇に合わせた年金額の引き上げなど、より良い年金制度を確保するため、みなさんのご協力をお願いします。

#### 保険料の納入を

56年度分(56年4月～57年3月)を未納にしている方は、4月30日までに納めてください。5月1日以降になりますと、納付書は使用できなくなります。未納にしていますと、将来受け

### 不用品ダイヤル市



5局 2111  
内線 257

おわけします(売り)  
学習机(スチール)、オート3輪(50cc)、エレクトーン(セミプロ用)、スタンドドライバー、冷蔵庫(2ドア)、バルカンオイルヒーター、温風式石油ストーブ、編機(シルバー・ブラザー)、フィギャースケート(23・5cm)、電動タイプライター(和文)、電機のか、ひな人形、ランドセル、電気毛布、ゆずってください(買い)リヤカー、自転車(男子用・婦人用)、バイク(50~90cc)、電気オルガン、78回転用プレーヤー、ピアノ、電気オーブン、電動ミシン、スピードスケート(26cm)



改定した給食費は次のとおりですが、小・中学校共に月額にして100円の値上げとなっています。

▼小学校 月額：2,600円  
▼中学校 月額：3,200円

もう一度、お手元の国民年金納付書をお確かめください。

### 国民健康保険

#### 保険証が新しくなります

現在お使いの保険証は、4月30日で有効期限が切れて使用できなくなります。新しい保険証への更新は、下表の日程で行ないますので、保険証と印鑑をもって手続きをしてください。

月日	曜日	時間	実施地区	実施場所
4月6日	火	11時～15時 10時～16時	カルルス 富浦、幸(一部)	オロフレ荘 漁業会館
7日	水	10時～16時		
8日	木	10時～16時	観別、栄(一部)	観別公民会
9日	金	10時～19時		
12月	月	10時～19時	栄(一部)、新生(一部)、富岸(一部)、若山(一部)、大和(一部)	富浜児童館
13日	火	10時～19時	若草(一部)、新生(一部)	千代の台集会所
14日	水	10時～19時	登別温泉、上登別、中登別(一部)	登別温泉公民館
15日	木	10時～16時	登別東、登別本、登別港、札内(一部)	登民会館
16日	金	10時～19時	中登別(一部)	
19日	月	10時～16時	美園、若草(一部)、新生(一部)、上登別	ひまわり園
20日	火	10時～19時		
21日	水	10時～16時		
22日	木	10時～16時	全地区	中央公民館
23日	金	10時～19時		

### 犬の放し飼いは やめましょう

最近、犬の放し飼による苦情が大変ふえています。放し飼いにされた犬が、人にまがらふ危険があります。

また、保険税を未納にしている方は、更新時までに納入されるか当日、持参してください。

つわりついたり、子供たちにじゃわっている内にかみつき、事故につながるケースもあります。

市清掃事務所では、放し飼いにされている犬は捕獲し、飼主を調べ、注意を与えています。ほとんどの犬が捕獲後、殺処分しなければならぬ状態となっています。こうした悲しい結果にならないよう、飼主一人ひとりが気をつけ、近所に迷惑がからぬようお願いします。

※犬についてのお問い合わせは、市清掃事務所(Ⅷ⑤2958)へご連絡ください。

